

令和4年度第3回豊明市地域公共交通会議 議事録
 (豊明市地域公共交通活性化協議会合同会議)

日時 令和5年3月24日(金) 午後2時30分から午後4時00分まで
 場所 豊明市役所新館4階 第1委員会室
 出席者 19名

名鉄バス(株) 大野委員	愛知県交通運輸産業労働組合協議会 永井委員
(株)あんしんネットなごや 天野委員(代理 正木氏)	愛知県警察署交通課 吉田委員(代理 田口氏)
(公社)愛知県バス協会 小林委員	名城大学理工学部 松本委員
名古屋市交通局自動車部 清水委員	豊明市経済建設部 伊藤委員
名古屋鉄道(株) 川本委員(代理 早戸氏)	豊明市健康福祉部 中村委員
市民公募委員 西谷委員	刈谷市都市政策部都市交通課 豊永委員(代理 内藤氏)
豊明市老人クラブ連合会 川村委員	東郷町企画部未来プロジェクト課 磯村委員
豊明市女性の会 大澤委員	大府市都市整備部都市政策課 福島委員(代理 神田氏)
豊明市心身障害者(児)福祉団体連合 会 松村委員	(株)アイシン 加藤委員
中部運輸局愛知運輸支局 山内委員	

欠席者 5名

東名交通(株) 江口委員	(株)豊明交通 外山委員
名古屋タクシー協会 多田委員	愛知県都市・交通局交通対策課 大林委員
愛知県尾張建設事務所維持管理課 吉金委員	

事務局 豊明市役所 行政経営部 企画政策課
 傍聴の可否 可
 傍聴の有無 有(3名)

議 事

【協議事項】

(1) 令和5年度地域公共交通活性化協議会予算及び事業計画について

【報告事項】

- (1) ひまわりバス等停留所名称の変更について
- (2) サイクル&ライドの実証について
- (3) 各交通事業者による今年度の事業報告及び来年度以降事業予定紹介について

議 事 内 容

※内容(要旨)では、チョイソコとよあけを「チョイソコ」と記載しています。

1 会長あいさつ

2 議題

【協議事項】

(1) 令和5年度地域公共交通活性化協議会予算及び事業計画について(資料1)

【事務局説明】

【委員】

- ・11月に豊明秋まつりでひまわりバス無料化運行ということですが、弊社のバスについてもこちらの無料運行に参加させていただけるかどうかを市でご検討いただければと思っております。弊社としては準備出来ております。他の自治体でも、実施した実績がございますので、ぜひともご検討いただきたいと思っております。以上でございます。

【事務局】

- ・豊明秋まつりの内容等が詳しく分かり次第、名鉄バス様と協議させていただき、ひまわりバスと名鉄バスの無料運行というところも検討させていただければと思います。
- ・ただし、負担金等の費用の扱いをどうするかというところがございますので、そういったところも含めて、利用促進になるような形を検討出来たらいいなというふうに考えています。

【会長】

- ・考え方としては、ひまわりバスは市内の移動どこでも無料になるということで、それはそれで一つあるのですが、一方で公共交通の利用促進という意味では、市内での移動に関して名鉄バスについても無料にするということができればいいのではないかということだと思えます。ただしそうすると、すべての移動ともなるとかなりの負担額が想定されます。豊明秋まつりの会場はどこで行われますか。

【事務局】

- ・今年度は新しくオープンした共生交流プラザカラットで実施しています。来年度の詳細は把握しておりませんが、引き続き同じ場所で開催するのではないかと思います。

【会長】

- ・カラットには名鉄バスも停まるのですか。

【事務局】

- ・施設の目の前には名鉄バスの停留所はありませんが、近くの豊明団地周辺には停留所がございますので、カラットから徒歩圏内に名鉄バスの停留所がございます。

【会長】

- ・予算が許すのであれば、市内の移動全部無料というのが良いと思いますけど、ただ利用者がどれぐらいになるかというのもありますので、豊明秋まつりの会場に足を運んでくれた方々に何らかのサービスを提供することもあるかもしれませんし、その辺ぜひ御検討いただいて、やれる方向で、何かお互いアイデア出しながら進めていただきたいと思います。ありがとうございました。その他いかがでしょうか。

【委員】

- ・県内の市町で様々な予算の立て方があると思うのですが、先ほど、前段の事業計画で、利用促進など様々な取組を計画しておられるということですが、それに関わる経費は、この協議会の予算の中の事業費では計上されないのでしょうか。

【事務局】

- ・自治体によって協議会予算の計上の仕方は様々ですが、豊明市の場合、例えばバスマップの作成費などの事業に必要な予算は市の一般会計で組んでおります。協議会の中で予算を組む場合は、昨年度策定しました公共交通計画の委託費などの国庫補助を活用するために、協議会で予算化を組み、執行するといったような扱いをしております。

【会長】

- ・今後国の補助金が、たしか協議会の方に入るといような話もありますので、豊明市でリーダー補助などが受けられるようになれば、協議会の予算の組み方も変えてもらうということですね。ありがとうございました。
- ・さきほどの無料運行について補足しておきますと、運賃が無料となるわけではなくて、その乗車分を市などが肩代わりするということです。運賃システムの変更には当たりませんので、ご承知おきください。
- ・名鉄バス(株)さんも、同様に無料運行となると、それは市や実行委員会などのどこかが肩代わりすることになります。

【委員】

- ・11月のちびっこ運転手体験について、具体的に教えてください。

【事務局】

- ・今年度実施した内容では、クラフトの運転士帽子を記念品としてプレゼントし、運転席に座っていただいて、記念撮影ができるといったイベントを実施させていただきました。このイベントは名鉄バス(株)に資材等のご協力をいただいて実施しております。

【会長】

- ・ぜひ住民の皆様には、こんなイベントもあることを、子どもがいるお母さん、お父さんたちにお伝えいただけるといいかなと思います。よろしく申し上げます。
- ・今後、コロナの波が来ないことを願いつつ、かなり、活動が自由になるのを想像しながら、コロナ前の状態にまで戻ってきて、これまで以上に利用促進を行うことができればなと思っています。
- ・それでは、特にご異論ないようでございますので、事業計画、予算案に関しましてご承認いただいたということによろしいでしょうか。

—全会一致のため承認—

【報告事項】**（１）ひまわりバス等停留所名称の変更について（資料２）****【事務局説明】****【会長】**

- ・カラットだけだと、市外から来る人は分からないなと思いましたが、併記していただけるということで、それであれば分かりますね。
- ・ちなみに、何でカラットなのですか。

【事務局】

- ・公募で愛称を募集し、元々唐竹小学校という名前でしたので唐竹の「カラ」から取ったこととお越しいただいた皆さんがダイヤモンドのカラットのように輝けるといった思いを込めて、愛称をつけられたと認識しています。

（２）サイクル&ライドの実証について（資料３）**【事務局説明】****【会長】**

- ・実証実験で、どれぐらいの利用が見込めるのかはまだ分かりませんが、前後駅まで自転車で行くのが大変だという方は、図書館まで行って駐輪場に停めて、そこからバスに乗換えて、前後駅まで移動できるということで、移動距離も短くなって楽になるということですかね。
- ・あと、前後駅のほうへ行くと、坂がありますよね。あその坂を上らなくても済むということですかね。どちらが健康にいいのか分かりませんが、これで移動が楽になるというので良いのではないかなと思います。
- ・この取り組みがどんどんと広まってくると良いですよ。色々なバス停に、自転車で行って自転車を置いてバスで動けるといふ、そんな環境が整ってくると良いかなと思いますので、その第一歩ということになります。これは地図で検索できるのですか。

【事務局】

- ・Googleマップ等で検索できるようにできるとは思いますが、実証期間後に検討したいと思いません。

【会長】

- ・ありがとうございます。若い人たちは、Googleマップを使われることが多いので、そういうので明示されるといいなと思います。

【委員】

- ・実証期間に、このシステムを使った方、件数のカウントはされるのですか。なかなかその仕方は難しいと思いますが、どうでしょうか。

【事務局】

- ・実際に、この取組みに参加された方をチェックするようなものはありませんので、定期的に現地を見て、指定場所に自転車が停まっているかどうか確認して、利用状況を把握しようと思います。
- ・あとは、図書館から、問合せや利用の声があれば、参考にしたいと思います。

【会長】

- ・そうですね、どれぐらいの利用かっていうのは、ある程度分かると思いますので、時々確認いただければと思います。ぜひ一度ご活用いただければと思います。

(3) 各交通事業者による今年度の事業報告及び来年度以降の事業紹介について

【委員】

- 豊明秋まつりでひまわりバスの展示、クラフトの運転士帽子の配布、運転席での記念撮影などを消毒等の安全対策をしたうえで実施しました。
- ・中型バス2台でシャトルバスの輸送を実施したが、一部、お客様が乗れない時間帯があったので、今後、車両を大きくする、または増便などの検討が必要だと思います。また、ひまわりバスを終日無料でご乗車いただき、多くのお客様にご利用いただきました。
- ・令和4年11月27日に勅使台地区交通改善実行委員会に参加し、公共交通の利用状況等について、地元の住民様との意見交換を実施しました。
- ・今年度もコロナの影響でなかなか活動が出来なかったが、生活が普通に戻りつつある中で、今後の安全対策や利用促進策ということで同様の活動は、次年度以降も協力させていただきたいと思っております。
- ・弊社で電気自動車のバスを購入します。披露する機会を豊明市と調整をしています。
- ・乗り方教室は、小学校や高齢者施設等で出前講座をさせていただきたいと思っておりますので、市を通じて弊社にお声がけいただければ、協力させていただきます。

【会長】

- ・EVバスの披露の場ということですが、何かそういう場は作れますか。

【事務局】

- ・今、名鉄バス(株)と相談しており令和5年5月に実施する環境フェスタでEVバスの展示が出来ないか考えています。そういった場で多くの方に見ていただける機会が作れると良いと思います。

【会長】

- ・EVバスを体験いただいて、環境にも優しいことをPRしていただくと良いと思います。そういう場をぜひ作っていただければと思います。
- ・それから乗り方教室は、小学校で考えているとのことでしたが、高齢者の方々を対象にした乗り方教室は今のところないのですか。

【事務局】

- ・今のところ、そのようなイベントを実施する予定はありません。

【会長】

- ・老人クラブの方々と一緒に実施していただくと良いなと思いますがその辺いかがですか。

【委員】

- ・そういう取組みは、とても良いことだと思いますので、私ども老人クラブ連合会も協力はしていきたいと思っておりますので、どんどん立案してください。

【委員】

- ・公共交通の安全に関するチラシや、利用促進に関するチラシを作っています。お声掛けいただけましたら資料等を送付します。イベント時に一緒に配布するなどしていただけたらありがたいなと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

【会長】

- ・そういう形で、もし開催することになりましたら、運輸局やバス協会など、いろいろご協力いただければと思いますので、参加いただいた方々にも喜んでもらえるといいですね。
- ・それから豊明市はひまわりバスのSNSをやっているのですか。

【事務局】

- ・公共交通専用のSNSはアカウントを持っていませんが、市公式のSNSで、記事を載せさせていただきますことはあります。

【会長】

- ・是非よろしく願いいたします。

【委員】

- ・予定されている環境フェスタの日でのEVバスの展示については、手配ができております。

【委員】

- チョイソコで2年半お世話になり本当にありがとうございました。
- ・来年度の目標として、弥富市のチョイソコを同じあんしんネットグループが21条運行を開始することが決まりました。
- ・あと、つばめタクシーで新しいタブレットを使い、事前確定運賃システムを作ったり、遠くに行くとき1人で乗るには料金が高いという場合に相乗りできるようなシステムを作るなど、タクシーも色々と変えていかなければならないと思います。
- ・あと、介護にも力を入れて市民の皆様にも少しでもお役に立てればと思い、来年度は色々と改善していこうと思っております。
- ・この2年半、本当にありがとうございました。また、よろしく願いいたします。

【会長】

- ・2年半、チョイソコの運行を担っていただき、こちらこそ本当ありがとうございました。
- ・今後は、タクシーということで、なかなか呼んでも来ないとか、乗りたいときに乗れないとかあります。タクシーの重要性、必要性というのはますます高まってくると思います。
- ・事前確定運賃いいですね。いつからの予定ですか。

【委員】

- ・10月頃を目標にしていますが、システムによって年を越してしまうかもしれません。

【委員】

- 昨年8月に名古屋市交通局市営事業100周年を迎え、色々なイベントを開催させていただきました。11月には吹上の施設を借りて大きなイベントも開催し、大変多くの方にご参加いただきました。
- ・令和4年度は新型コロナウイルス感染症の大きな波が夏と冬に2回ありました。市バスの乗車人数は、こうした状況を受けて、コロナ前は市バスに1日大体35万人ご利用いただきましたが、その2割減で大体28万人ぐらいまで落ち込んでいます。昨年度も同程度で、今年度も2割減ぐらいの状況が続いている状況にあります。
- ・バスを利用させていただくお客様は、色々な券種でご乗車いただきます。名古屋市には敬老バス制度というものがあり、敬老パス、マナカ、現金、定期券でご利用いただく方など色々ありますが、敬老パスでご利用いただく方の利用率が、他の券種に比べて若干下がっているのが大きな傾向です。藤田医科大学病院間で市バスを4系統、乗り入れしていますが、その系統でも同じような状況です。
- ・交通局としてはどうやってお客様をとり戻すのか、乗車人数がかなり減少してしまったことで、経営的にも今非常に厳しい状況になっております。
- ・市バス事業で言いますと、令和5年度予算で約18億円の赤字を見込んでいます。どのように経営改善をしていくのが課題で、対策をしていくところだと考えております。
- ・乗客誘致の観点では、具体的に利用促進策の展開としてさらなる乗客誘致に努めるために、ウォーキングイベントやスタンプラリーの開催など、これまでもやってきていることに加えて、さらに充実していくことも計画しています。

- ・令和5年度予算の中では、非常に厳しい経営状況であり、昨日、記者発表しましたが、マイレージポイントの制度変更を予定しております。具体的には7月からポイントの付与方法を変更し、ポイントの付与率が下がります。
- ・公営企業という位置づけのため、経済性と市民の福祉増進のために公共性についても発揮するということが求められております。市バス、地下鉄を一体的に事業運営しておりますので、身近な市民の移動手段として機能を果たせるように、引き続き、努めていきたいと考えています。

【委員】

- 今後も、地域の皆さんのご意見をお聞きして、少しでも利用しやすい鉄道にしていこうと思います。なかなか駅を変えるとかダイヤを変えるのは難しい話だと思いますが、色々のご意見いただいて少しでも地域と一緒に盛り上げていけたらと思います。今後ともよろしく願います。

【会長】

- ・名鉄さんは何よりセントエックスを一生懸命やっていただいて、利用も増えていると聞いていますし、デジタル決済もできるようになってきていますので、使いやすい環境が整ってくるのだろうという気はしております。

【委員】

- ・日本全国の鉄道会社には、無人駅がたくさんありますよね。実はこの豊明駅が、日本一規模の大きい無人駅だということを最近知ったのでちょっとびっくりしました。

【会長】

- ・駅舎が大きいということですか。利用者が増えれば人もまた張りつく可能性がありますね。勉強になりますありがとうございました。

【委員】

- バス協会から知立市のイベントになりますが、名鉄電車高架について一部スタートします。それを記念して知立市と名鉄でイベントを実施し、バスの利用促進を図るという取組を明後日に行います。名鉄バス(株)に協力を得まして、中部国際空港へ行っている無人バスと高速バス2台を展示し、ノベルティも用意していますので、ぜひ来ていただきたいなと思います。

【委員】

- チョイソコの実績報告として現状の説明と、来期に向けた展望を述べさせていただきます。会員数は、現時点で2,200名ほど登録いただいております。2018年の当初が91名だったことを考えるとかなりの規模になったと思います。
- ・年代別の登録者数は、80代の方が1番多く、平均は79.7歳。95歳を超える方も、毎週のように乗っていただいているという意味で、色々多くの方にご利用いただいております。
- ・会員の伸びが落ちついているので、色々なイベントを開始しまして改めてPRや周知活動を行っていく必要があると考えております。
- ・乗車実績は、コロナで一旦下がりましたが徐々に戻ってきているというのが、ほかの交通機関様と同じような状況にあります。
- ・曜日別の乗車数は、全国的には月曜日と金曜日をピークにUの字を描くのですが、豊明市の場合は、月から金曜日に向かって上がっていくという意味で、需要の時期が少し変わっているというのが特徴だと思います。
- ・利用の多い停留所は、豊明市役所が乗降1位になっていますが、市役所が1位になっているのは、全国で豊明市だけで、要因はコロナの接種として使われている方と、豊明市役所が乗換え拠点で、乗継ぎをされている方が最近出てきておりますので、市役所に一般的に行くニーズ以外にも、その点で利用者が増えているのではないかと思います。

- ・チョイソコの自治体と民間企業が外出促進を継続していくというスキーム、その活動に対して地元企業様が協賛をして支えていくというこのスキームが全国的には受け入れられつつあり、現時点で57の自治体で採用いただいております、内定を含めると60から70の自治体が確定しているという状況にあります。
- ・この数字は、一つのデマンド交通としては、全国でトップの採用数ということになりますので、今後の活動は、他の自治体との交流、ノウハウの共有、成功例の横展開をしっかりとしていく必要があるということ。既に全国で3万人を超える会員の方の登録がありますので、そのネットワークを使った新たな収入源。例えば豊明の名産品や物産を他の自治体の会員様にご紹介することで、商業的な行き来を図るとか、他の自治体のイベントの事例を共有をしていく、そういった活動をしていくステージになっていくのではないかなというふうに感じております。
- ・公共交通が全国的に厳しい中で、チョイソコが目指すところとしては、交通インフラだけではなく、社会インフラという形でお役に立てるようなところを目指していきたいと思っております。

【会長】

- ・利用者数、登録者数は少しずつ微増していきながら、利用者数もコロナで落ち込みましたが回復傾向があるということでもあります。
- ・それから、本当に色々なサービスが提供されているので、豊明市で必要なものがあれば、ぜひトライしていただくといいかなと思っております。

【委員】

- 刈谷市の状況として、「かりまる」を運行しており、年間約70万人以上乗降いただいておりますが、コロナ後の令和2年は51万人ほどにまで落ちたという状況がございました。令和3年度から56万人と回復し、今年度も増えているというところで回復傾向にあると考えております。ただし、元の70万人に戻っていくかどうかは、今後の課題として検証していく必要があると思います。
- ・今、刈谷市として令和3年度から地域公共交通計画の策定作業を行っており、今年度データからの現状分析と、市内の中学校区単位でワークショップ形式の意見交換会を開催し、各地域の移動分析を実施しました。そういった過程の中で、藤田医科大学や買物など生活圏として豊明市に関わっている地域がありましたので、今後、連携等も考えていけるといいのかなと考えています。今後は、来年度に計画策定を行い、それに基づいて刈谷市の公共交通の体系などを見直していくということを予定しております。
- ・各地域で意見交換会の中で公共交通の利用促進だとか、利便性の向上を図っていく必要があるのではないかと意見もいただいております、そういった利用促進や新たな移動のモードみたいなものを考えていき、都市交通課の中でも新しく係を設置していきますので、引き続き隣接する豊明市と連携等も検討出来たら良いと思いますので、よろしく願いいたします。

【委員】

- 東郷町の今年度の取組を二つほど御紹介させていただきたいと思っております。
- ・まず一つ目としてデマンドタクシーの導入です。令和2年度から3度の実証実験を実施し、本年度7月から本格運行を開始しました。導入目的は、バス停まで移動することが困難な方でも利用できる移動手段ということで、普通タクシーの空車を活用した乗り合いを求めない運行形態です。現在の利用登録者数は、1,000人を超えたところです。
- ・利用者の皆様には好評である一方で、利用したい時間帯に予約が取れないといった声も既に出しております。限られた資源を効率的に活用することが今後の課題ということになっております。

- また、町外の病院や、鉄道駅への乗り入れという要望の声もありますが、基幹バスを組合せてご利用いただくように、乗り継ぎ方法等の周知を利用案内にあわせて行っているという状況です。
- 二つ目の取組としてバスの利用促進です。巡回バス、東郷・藤田医大バス、名鉄バスの利用を促すためのイベントを大型商業施設と隣接市の協力を得て実施しました。イベントの概要として、期間中に巡回バスや、藤田医大バス等を乗車された方に、ららぽーと愛知東郷で利用できる優待カードを配布しました。豊明市の広報でも、このイベントの情報を掲載していただきありがとうございます。
- また、同様の連携イベントをみよし市、名鉄バス(株)と連携して実施しました。実施期間中のバス利用が1割程度増加したということもありましたので、一定の効果が見られております。来年度も連携先を拡大して実施していければと考えておりますので、また協力よろしくをお願いします。

【会長】

- デマンドタクシーということで、チョイソコと似ておりますが、普通タクシーの空車を活用した移動ということで、目的地についてはある程度限られておりますが、結構色々なところに行きますよね。ただ駅とか既存の公共交通で行ける所は、その方法で行ってくださいという仕組みになっています。それからバスの利用促進ということで、大型商業施設と連携しながら、名鉄バス(株)にも協力いただきながら、イベントを開催しているということでもあります。次年度以降は拡大したいということですので、豊明市にも周知していただいておりますが、一緒にぜひやっていただけるといいですね。

【委員】

○大府市のふれあいバスについて、申し上げたいと思います。

- 今年度実施した取組として、昨年10月29、30日に大府市で産業文化まつりを開催しましたが、その中でふれあいバスを使った乗り方教室を開催しました。その際に、ペーパークラフトやバスのぬりえ、バスのシカクにご用心といったチラシなどの配布も行いました。お越しいただいたのが900名以上で利用促進としては良かったかなと思っております。
- ぬりえは12月末から年明けまでバスの車内に掲載するというイベントも開催しました。100点以上ありましたので想像以上の反響があったと思っております。
- また、今年の1月4日から今月末まで3か月間、ふれあいバスの無料乗車キャンペーンとして、バス事業者に協力いただきながら実施しておりまして、利用者数も増加傾向にあります。コロナの影響で急激に利用者数は減りましたが、キャンペーンを始めてから、コロナ以前を上回る利用者数に増えてきております。ただし、4月以降は、通常の運賃に戻しますので、その後の推移は注視していきたいなと思っております。
- バスロケーションシステムを今年度変更し、国の交付金も活用させていただきました。各バス停で乗降者数をカウントできるシステムを搭載したものにし、バスの混雑状況が数値化して、皆さんに事前にお知らせできます。
- また、来年度4月1日から、交通系ICカードを、大府市のふれあいバスにも導入する予定としております。先ほどEVバスの話が出ましたが、今年10月1日でふれあいバスの改正を予定しており、その際に1コース車両1台増車する予定です。増車の際にEVバスを使おうと思っております。中央コースの台数を2台化することで便数を倍増しようというものでございます。
- 改正の際に、前後駅に、大府市のふれあいバスも乗り入れしていますが、前後駅に乗り入れをしている中の1系統が、朝昼だけですが長寿医療研究センターにそのまま直接乗り入れをするような運行形態を今後とらせていただこうと思っております。

【会長】

- ・先ほどペーパークラフトとかぬりえを配布されて多くの参加があったということですが、やはりこういう配るものがあるといいのですかね。

【委員】

- ・そうですね、このペーパークラフトは実は令和3年度に自前で作ったものですが、リピーターの方がいらっしゃるのか、市の窓口にもよく取りに見えますし、ハマっている方は、何度も作ったり乗ったりしていただいているようでして、実際、産業文化まつりでお配りしたときも、家族連れの方が興味を持って、お父さんお母さんが手を引っ張られてくるというような様子もございまして、若い世代に公共交通というものを知っていただける機会としては、非常に良かったと思います。

【会長】

- ・いいですね。豊明市はそういう啓発品はありましたか。

【事務局】

- ・豊明市では、市の予算で何か啓発グッズを作ることは特にしていません。前に近隣自治体と意見交換する機会がありました。その際にお聞きしたところ、各市町色々なものを作られていることが分かりましたので、来年度予算は固まっていますが、予算の中で工夫してできることやその先のことを見据えて、イベント時に必要性を踏まえ検討出来たらいいなと思っております。

【会長】

- ・名鉄バスさんやバス協会さんはよく啓発されていると思いますが。

【委員】

- ・バスの運転手帽子の形をした物と、ボールペン、メモ用紙など結構あります。

【会長】

- ・次年度も何か新しいものを作るというのは、それなりに効果があるという判断ですね。
- ・そういうものがあると、お客さんも集まってくれるし、啓発にもつながっていくことですね。そういう意味ではぜひ、名鉄バスさんなどに頼らず市独自の啓発グッズも持っているといいなと改めて思いました。来年度に関して難しいかもしれませんが、できる範囲で、そして次年度に向けて、ぜひ作って活用してもらえればいいかなと思います。
- ・以上で事業者の皆様からの報告は全て終了となります。皆様方ご紹介いただきましてありがとうございました。

3 その他

事務局より下記の内容を説明

- ・委員の変更届
- ・3月13日以降の新型コロナ対策に関するチラシ（厚労省作成）
- ・名鉄交通第三櫛のチョイソコ事業認可
- ・名古屋競馬組合からの寄付金の活用（ひまわりバス停留所にベンチ設置の検討）

【会長】

- ・今年度最後になりますので、市民代表の方々から、公共交通に関してお願いしたいと思いたすがいかがでしょうか。

【委員】

- ・毎回言っていることですが、高齢者が増えていく中で本当に皆さんが利用しやすい公共交通であることを願っております。私もあと15年ぐらいは運転できると思いますが、よろしくお

願います。

【会長】

- ・たまに公共交通に乗っていただくといいですね。それを1回、2回、3回とちょっとずつ、移動の際に公共交通を使っただけだとありがたいですね。

【委員】

- ・私の家は沓掛の方です。高齢者は免許返納で足がなくなってくるというのがだんだん増えてくると思いますが、そういう人への利用促進をまず図って、老人クラブで試乗会をやるのかなという考えもありますので、よろしく願います。

【会長】

- ・ぜひ企画いただければと思います。交通事業者の皆様のご協力もお願いしたいと思います。よろしく願います。

【委員】

- ・女性の会も高齢化してきています。免許を返される方が今多くて、そこに行くまでの足や自分の思った時間にどうしても出られないので、友達に頼んで一緒に乗ってくるということが結構多いです。乗せる方も責任が伴いますので、ちょっと遠慮したいということがあり、公共交通に誰でも簡単に乗れて、昼間の時間帯が多くあればいいかなとは思っています。

【会長】

- ・おっしゃられるとおりで、ある自治体では懇談会をしたときに、女性の方が言われたのは、習い事に行きたいと。ところがその場所への丁度よい足がない。そこに行って、終わった時間に帰って来られるようなものがあるといいのだけど。と聞いていましたが、これからラストマイルプラス。病院や買物だけの必須の移動が主に言われますが、そうではないところの移動にも使えるような手段の確保が必要だと思いますので、ぜひ豊明市でもそんなことが実現できると良いですね。声をたくさん上げてください。

【委員】

- ・私たちのいるところは、一応ひまわりバスが走っています。ただ、ひまわりバスに乗れるかということ乗ることはないですね。基本、駅まで歩いたほうが早い。
- ・同じ集落の中で、駅まで30分かかっても着かないようなところもあります。ところが、そこにはチョイソコはない。そういうところを考えていかないと。前後町の仙人塚の辺りや沓掛だから駅まで遠いという地域だけの話じゃなく、阿野でも、境川に面した辺りは結構、家があります。そのあたりには全くそういうのはない。
- ・自分が免許を返したときに、乗るかということ、まず乗れないですよ。乗れないというのは何でかということそのニーズに合うような時間にバスがない。バスに乗りたくても、恐らく1日何本かしかない。バスに乗れるかと、そこまで待つ必要もないし、帰りはどうするのか、それもまた問題。
- ・それから免許を返した人の中で、タクシーに乗ったそうです。市役所より東の方です。その方が豊明市役所まで来るのに、タクシーが南のほうに下がって、それから市役所に来たそうです。その方は免許を返して、まだ期間が短かったので、何でこんな所を回るんだという話をして、タクシーの運転手と喧嘩になったそうです。結局、帰りは役所から歩いたそうです。一体これって、公共交通なんですかね。そういうのを聞いたときに、すごく悲しかったし、この会議って一体、何なんだろうなっていうのが、私の中にずっとあります。
- ・もう少ししっかり考えていかないと。地域だけの話ではないので、考えていただきたいなと思っています。

【会長】

- ・おっしゃられるとおりでと思います。町字界だけで区切るというのでは、必ずしも合理的ではない可能性があります。同じ町字でも、不便なところと便利なところがあるので、そういうきめ細やかな設定が必要でしょう。それは今後、豊明市としても検討する題材にはなりうるなど思っております。
- ・そのときに住民の方々に、同じ町でも、ここは使えるけどここは使えないよということを説明しないとイケなくて、その理解が得られるかということもありますので、いずれにしても住民の方々とよく対話しながら、皆さんが納得いくような形で設定していく必要があると思っております。
- ・それからタクシーの話は逆もあり、助かったという話もたくさんありますが、そういう嫌な思いをすると、どうしてもそれでタクシーを使いたくなくなりますよね。ぜひ、そういうところはタクシー業界のほうでも、そういった事例がなくなるように、ご検討いただければいいと思います。先ほど事前確定運賃というのがありましたけど、そんな形で少し遠回りになったとしても、料金は確定しているというような仕組みがこれから導入されていきますので、少しずつ改善に向かっていくということでご理解いただければと思います。どうもありがとうございました。

【会長】

- ・いずれにしましても、これからも豊明の公共交通が良くなるように情報交換させていただきながら皆さんで取り組んでいただければと思います。本日も、皆様どうもありがとうございました。それでは進行を事務局にお返しいたします。

【事務局】

- ・皆様、熱心な御協議ありがとうございました。
以上をもちまして、令和4年度第3回豊明市地域公共交通会議、豊明市地域公共交通活性化協議会合同会議を終了させていただきます。お疲れさまでした。

以上